

# 可決された主な議案

- 昭和六十三年度南国市一般会計補正予算一億二千百三十八万九千円を追加補正。財源は市税増収見込み、特別交付税など。事業費支弁人件費の充当により一千四百三十八万一千円を減額、退職手当で一億円を計上。地域改善対策について二千六十万五千円を追加。そのほか国、県費補助内定による事業費の減額、災害復旧費一億二千百二十三万八千円を追加計上。
- 財産の処分について前浜地区海岸線の市有地払い下げについて、道路用地等を残し、一四八〇〇平方メートルの払い下げを行う。価格については前回同様低減して売却する。
- 南国市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例。今国会において給与改定の法律が可決され、国家公務員に改定給料表による給与が支給されることになるため、これに準じて市職員の給与を改定する。給料表の改定は昭和六十三年四月一日から適用する。
- 野中小集落地区改良事業三区一五工区No.二改良住宅建設工事

を増額し、二億三百九十二万三千円とする。

請負契約の変更について基礎工事において基礎の支持層までの深度が大きくなったため、工法の変更により九十二万三千円

十二月定例会議の議事録は、三月以降市立図書館で閲覧できる予定ですので利用してください。

## 障害者の社会参加の促進を

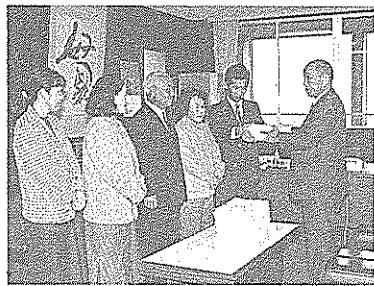
### 共同作業所を作る会が 議長に請願書を手渡す

昨年の十二月定例会議に先立ち十二月九日に南国市に障害者の共同作業所を作る会（山本忠明会長）が門田議長に市有地、施設の無償貸与に関する請願書を手渡しました。

これが現状。そのようななかで共同作業所を作る会は、障害者の社会参加を進めるためにも作業所の設置をと運動しています。このほど二万四千四百二十二人の署名を集めて議会に請願書を提出し、採択されました。

現在市には約一千六百人の障害者がいますが、障害者の作業所や授産施設などは一か所もありません。

請願の趣旨は、小規模作業所を設置するため、南国市の市有地若しくは施設を無償で貸与してもらいたいというものです。署名者のなかには市議会議員二十五人の名前もあります。



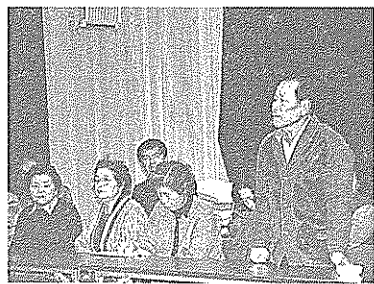
議長に請願書を手渡す

山本会長が「作る会でも建設資金集めなどの努力をしていくので一日も早い実現を」と述べると、それに対して議長は「皆さんのご期待に添うよう全力を上げる」と答えました。

## 身近な市政を語り合う 国府地区市政懇談会

公民館事業の一環として国府地区市政懇談会が十二月六日に国府公民館（乾常美館長）で開かれ、市からは両助役をはじめ、執行部九人が、地元からは代表者ら約二十人が参加して地区の抱える身近な問題について意見を交換し合いました。

懇談会では第一助役のあいさつの後、第二助役が国分川改修の問題や市政の現状について説明し、話し合いに移りました。



市政に一言



入寮者が歌声を披露

### 国府寮まつり

#### 初開催

身体障害者療護施設「国府寮」で昨年十二月十日、国府寮まつりが行われました。ステージでの入寮者による芸能発表のほか、模擬店やチャリティーバザーも開かれ、たくさんの人出でにぎわいました。

「架橋時代を迎えて国分寺への進入路を大型バスが通れるように拡幅してもらいたい」といった要望や、比江の工業団地の問題が次々と地元から出されましたが、現在工業用地となっている比江のグラウンドの代替地問題に話が進むと議論が白熱。市の財政状態はじゅうぶん理解しながらも、「ぜひ実現を」と改めて強い要望が出されました。